



地域とともに 未来の**命**を守るために

～石巻市立青葉中学校の取組を通して～

発表者（前石巻市立青葉中学校長）
石巻市立湊中学校 校長 平塚 真一郎

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
宮城県石巻市	191名	平成2年度	14名	4回	1名

学校教育目標

 **誇れる自分が輝く学校** 【目指す学校像】 安心・安全な学校 生徒のよさを伸ばす学校 地域に開かれた学校

学校・地域の特徴

石巻市の西部，東松島市と境界を接する地域に位置し，学区は，上釜・下釜・上大街道1・2の4地区からなる。一小学校・一中学校，兄弟校として，より良い小中連携のあり方を模索し，推進している。

東日本大震災時には，北上運河を境に海側の上釜，下釜地区が甚大な被害を受けた。現在は，生活基盤の整備がおおむね完了し，インフラ面においては復興を遂げた。一方，家庭生活においては，経済的な部分での震災の影響がいまだ見られる。

学校運営協議会の概要

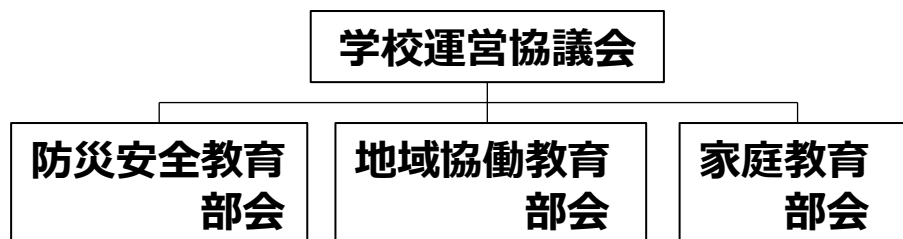
委員の構成

- ・学校支援地域コーディネーター
- ・地域住民（自治会長等）
- ・保護者
- ・NPO団体
- ・学識経験者
- ・校長

これまでの主な議題例

- アクションプランの立案と実践
- 部会ごとの実践活動
- ・防災安全教育部会
- ・地域協働教育部会
- ・家庭教育部会

組織図



地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

- ・市総合防災訓練への参加
地区ごとの防災訓練に参加
- ・街歩きMAPの作成
- ・小中連携事業
小中学生の交流
中学生ボランティアの活動
- ・「青中お助け隊」を中心とする地域貢献
地域ボランティアへの参加
- ・防災事業への協力及び評価
- ・コミスク主催事業の展開





平成2年4月開校
全校生徒 191名 教職員 21名
石巻市の西部に位置し，学区は石巻工業港に隣接している



津波被害
25名の児童
12名の生徒
が犠牲に

避難者（最大）
4500人



- 2011年 東日本大震災発生 避難所開設
- 2013年 **地域防災連絡協議会**発足 防災倉庫設置
市総合防災訓練（町内会との連携防災訓練）
- 2015年 太陽光発電設備工事完了
- 2016年 石巻市学校防災フォーラム開催
- 2017年 青中お助け隊発足 防災教育フォーラム開催
市総合防災訓練（生徒が居住地域の運営に協力）
- 2018年 避難所担当（津波時直接参集）職員制度
キーボックス設置
- 2019年 **セーフティプロモーションスクール**認証
- 2020年 **学校運営協議会**発足
- 2021年 **地域連携型学校防災等構築推進事業**実践協力校
- 2023年 復興大臣防災授業視察
- 2024年 **CS主催**教職員研修の実施（遺構見学，防災講話）



学校安全の充実

- ◎児童生徒の命を守る安全教育の推進
- ◎教職員の災害対応能力向上
- ◎安心・安全な学校環境づくり
- ◎東日本大震災の教訓の伝承

これらを
目指して

学校安全3領域

災害安全

交通安全

生活安全

学校防災推進会議

防災研修 ワーキンググループ1

防災主任研修会の開催

管理職対象研修会の開催

学校防災フォーラムの開催



「クロスロード石巻版」の活用推進

防災管理 ワーキンググループ2

大川小事故報告書24の提言に係る調査実施

学校安全マニュアルの点検

学校地域防災連絡会に係る調査実施

避難訓練学校訪問の実施



防災教育 ワーキンググループ3

防災「合言葉」募集

防災教育副読本の改訂



復興・防災マップコンクールの実施

学校安全総合支援事業

災害安全の充実

- ◎緊急地震速報受信機を活用した実践的な避難訓練＜受信機設置校3校＞
- ◎「復興・防災マップづくり」を生かした防災教育＜実践協力校3校＞

交通安全の充実

- ◎交通安全の意識や技能を高める教育の推進
- ＜実践協力校1校＞



生活安全の充実

- ◎防犯カメラを活用した実践的な不審者対応避難訓練
- ＜実践協力校1校＞

セーフティプロモーションスクール（SPS※1）認証に向けた取組の推進

- ◎認証校数全国1位【17校（令和7年4月現在）】＜認証申請校2校＞＜安全協働学区※2 1中学校区＞
- ※1 SPS：学校安全コーディネーターを軸に警察・消防・行政・自治会・家庭などと連携を図り、学校安全の取組を行っている学校（大阪教育大学学校安全推進センターが認証）
- ※2 安全協働学区：隣接もしくは共通する学区を持つ複数の学校においてSPS活動を共有しつつ、「安全協働学区の5指標」に基づいた学校安全の取組を学校・家庭・地域が協働して推進する学区（大阪教育大学学校安全推進センターが認証）。

災害や不審者等の情報発信
市総合防災訓練参加
避難訓練参観
通学路等の安全点検・見守り

連携

研修会での演習指導
学校安全マニュアル改訂の助言
避難訓練への指導助言
復興・防災マップコンクール審査

地域・学校運営協議会・保護者・関係機関（大学、各課等）

期待できる成果

- ・安全に配慮して主体的に行動できる児童生徒を育成することができる。
- ・常に学校安全マニュアルの更新が行われ、児童生徒の安全を守るための対策を強化することができる。
- ・教職員の災害対応能力や安全教育指導力が充実し、児童生徒の安全意識や技能の向上、安全管理の強化が図られる。
- ・地域、保護者、関係機関と連携した学校安全体制が構築され、児童生徒が安心して学ぶ環境整備が進む。

地域との連携・協働の強化

コミュニティ・スクール推進事業

- ◎すべての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを推進する。

コミュニティ・スクール

地域とともにある学校

- ◎学校評価の実施・公表・設置者への報告
- 自己評価



熟議

学校関係者評価
学校運営協議会

- ◎学校運営の基本方針の承認
- ◎学校と地域住民等との連携・協力・促進（外部人材活用、地域ボランティアの活用等、地域住民と連携した体験活動の実施）
- ※すべての石巻市立小・中・高に設置

教育委員会

- ◎CS検討推進委員会の開催（年4回）
- ◎学校運営協議会への指導・助言
- ◎CS推進フォーラムの開催

依頼
連携

地域学校協働本部

- ・地域学校協働活動推進員の配置
- ・学校評価の協力
- ・学校行事のサポート
- ・学校運営協議会への参加
- ・要望に応じた人材派遣（外部講師、特別非常勤講師）
- ・ボランティアの協力

教育委員会

- ◎石巻市学校支援地域コーディネーター委嘱
※令和6年度：44名委嘱・学校支援、放課後の教育活動等の地域活動の調整やボランティアの確保
- ◎協働教育コーディネーター委嘱
・各小・中学校における協働教育の推進

地域学校協働活動

- ・授業のサポート（ミシン、総合等）
- ・キャリア教育支援
- ・学校行事のサポート
- ・防災・安全支援（登下校見守り）
- ・放課後遊び・学習の見守り
- ・郷土学習の講師、支援 など
- （主に学校が主導の活動）

- ・放課後子ども教室
- ・放課後学び教室
- ・地域清掃活動への参加
- ・昔の遊び講座の開催
- ・市総合防災訓練への子ども参加
- ・地域の活動への参加 など
- （主に地域が主導の活動）



期待できる成果

- ・学校経営や教育活動推進の状況について、家庭や地域と情報が共有されることにより、地域と学校が連携・協働して学習活動を行う仕組みづくりが推進される。
- ・学校の教育活動に家庭や地域の活力を取り込むことにより、地域コミュニティの活性化が期待でき、地域とともにある学校づくりが図られる。

石巻市の取組

- ・石巻市学校運営協議会規則（趣旨）

第2条 協議会は、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、石巻市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や保護者及び地域の住民等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものとする。

- ・学校運営協議会の組織

【3つの部会】 ※委員と教職員がそれぞれ所属

防災安全教育部会

地域協働教育部会

家庭教育部会



地域防災連絡協議会



セーフティ プロモーション スクール (SPS)
学校独自の「生活安全・災害安全・交通安全」の推進のため，中期目標と計画を定め，組織的な取組と継続的な評価・改善を行う学校を認証する制度

青葉中・釜小学校区地域防災連絡協議会

令和7年度青葉中学校・釜小学校区地域防災連絡協議会 会員名簿

No.	役職	氏名	所 属	部 署	備 考
1	会 長	山崎 正美	上大街道第一町内会	会 長	
2	副会長	八月朔日誠司	青葉中学校	校 長	
3	副会長	松川 忠孝	釜小学校	校 長	
4	常任理事	赤間 彰	上大街道第二町内会	会 長	
5	常任理事	阿部 貞男	上釜町内会	会 長	
6	常任理事	阿部 勝	下釜第一町内会	会 長	
7	委 員	菊池 正	上大街道第一町内会	防災部長	
8	委 員	古山 和夫	上大街道第一町内会	防災副部長	
9	委 員	菊地 慎一	上大街道第二町内会	防災部長	
10	委 員	佐藤 浩之	上大街道第二町内会	防災副部長	
10	委 員	須藤 慎	上大街道第二町内会	防災副部長	
11	委 員	吉田 忠雄	上釜町内会	防災部長	
12	委 員	小山田 重成	上釜町内会	防災副部長	
13	委 員	三浦 勲	下釜第一町内会	防災部長	
14	委 員	大須 武則	下釜第一町内会	防災副部長	
15	委 員	後藤 雄喜	釜小学校PTA	会 長	
16	委 員	本郷 雅浩	青葉中学校PTA	会 長	
17	委 員	高橋 聖公	消防団第2分団	分団長	
18	委 員	堀川 禎則	学校運営協議会	会 長	
19	事務局長	平井 美江	青葉中学校	教 頭	
20	事務局次長	遠藤 智弥	釜小学校	教 頭	
21	書 記	阿部 睦夫	青葉中学校	防災主任	
22	書 記	芳賀 舞花	釜小学校	防災主任	
No.	役職	氏名	所 属	役職	備 考
1	青中担当	土井 政博	管財課	主幹	避難所担当緊急避難場所担当
2	青中担当	谷地 友香里	監査委員事務局	主任主事	避難所担当緊急避難場所担当
3	青中担当	阿部 孝弘	市民税課	主任主事	避難所担当緊急避難場所担当
4	青中担当	佐藤 優哉	行政経営課	主任主事	避難所担当緊急避難場所担当
5	青中担当	村田 奈央子	保護課	社会福祉士	避難所担当
6	青中担当	奥田 淳	農林課	主任技師	避難所担当
7	釜小担当	星野 有香	納税課	主幹	避難所担当緊急避難場所担当
8	釜小担当	千葉 智洋	資産税課	主幹	緊急避難場所担当
9	釜小担当	阿部 瑞希	納税課	主事	避難所担当緊急避難場所担当
10	釜小担当	狩野 らん	保険年金課	主事	緊急避難場所担当
11	釜小担当	石森 愛	市民課	主事	避難所担当
12	釜小担当	松岡 唯弥	保険年金課	主事	避難所担当
13	釜小担当	金子 雅貴	学校管理課	主任技師	避難所担当

※委員の重複

釜小・青葉中学校運営協議会

令和7年度 釜小・青葉中学校運営協議会委員

番号	役職等	氏名	地域・学校との関り等
1	会長 家庭	堀川 禎則	令和7年度学校運営協議会会長 (地域住民)
2	副会長 防災	三浦 勲	令和7年度学校運営協議会副会長 (地域住民)
3	書記 地域	鈴木 嵩弘	令和7年度学校運営協議会委員 学校支援地域コーディネーター (運営に資する活動)
4	防災	山崎 正美	令和7年度学校運営協議会委員 (地域住民)
5	防災	赤間 彰	令和7年度学校運営協議会委員 (地域住民)
6	地域	鈴木 英明	令和7年度学校運営協議会委員 (地域住民)
7	地域	山田 幸広	令和7年度学校運営協議会委員 (地域住民)
8	防災	今野 和幸	令和7年度学校運営協議会委員、青葉中学校同窓会会長 (保護者)
9	家庭	柴田 滋紀	令和7年度学校運営協議会委員 (運営に資する活動)
10	家庭	本郷 雅浩	令和7年度学校運営協議会委員 (保護者)
11	家庭	千葉 千恵	令和7年度学校運営協議会委員 (運営に資する活動)
12	地域	伊勢 みゆき	令和7年度学校運営協議会委員 (学識経験者)
13		松川 忠孝	石巻市立釜小学校長 (校長)
14		八月朔日誠司	石巻市立青葉中学校長 (校長)

- 東日本大震災の教訓から，防災に関する高い住民の意識と自主防災組織の充実
- 最大被災地石巻市の取組が背景
(学校安全推進課の設置，防災主幹教諭の配置，市総合防災訓練，大川小事故報告書24の提言)
- 非常時に校舎が活用される前提
- 早い段階で，**地域防災連絡協議会**が発足。自治体も巻き込んで防災について議論
- **地域防災連絡協議会**と**学校運営協議会**の委員の重なり
- 災害安全を軸としたセーフティプロモーションスクールの申請と認証

- 地域や関係機関等と連携した学校防災マニュアルの見直しや避難訓練等の実施
- 地域と連携した災害特性を共有するワークショップ等の実施
- 教職員の災害対応力を養成する校内研修の実施
- 被災地訪問等を取り入れた生徒の防災意識を高める防災教育の実践

6-2 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践



- CS委員，地域の方の協力による保護者引渡し訓練の実施



- 地域と合同の石巻市総合防災訓練への参加

石巻市の防災体制・石巻市総合防災訓練



11月5日津波防災の日
石巻市総合防災訓練→登校日



6-4 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践



- 地域の方による避難訓練の参観及び評価



- 学区内の復興・防災マップづくりへの取組

小中連携防災職員研修



本学校運営協議会
会長 堀川 禎則 氏

小中連携防災職員研修



- 「ない」ものを作り出すよりも、「ある」ものを生かす方が容易
- 従来「ある」ものの質的な転換
(児童生徒，保護者，地域住民を巻き込んだ取組)
- 「安全はつくるもの」という視点～学校安全をつくる当事者としての目線 地域ぐるみ
- 異動が多い学校文化～持続可能な仕組みづくり
- 学校安全の三領域（生活安全・交通安全・災害安全）
～その学校の軸をつくる
- 防災に関しては，学校だけでは無理
- しがらみのない「子ども」の力が地域を動かす

青中お助け隊…有志によるボランティア組織





ご清聴ありがとうございました